

評価結果概要表

【評価実施概要】 作成日 平成20年9月7日

| | | | |
|-------|-------------------|-------|---------------------|
| 事業所番号 | 2770901870 | 評価機関名 | 特定非営利活動法人 |
| 法人名 | 有限会社 スギタ | | 近畿マネジメント・サポート・センター |
| 事業所名 | サポートハウス 城南 | 所在地 | 大阪市東住吉区山坂5-5-14-103 |
| 所在地 | 大阪府高槻市城南町2丁目16-16 | 評価調査日 | 平成 20 年 8 月 29 日 |
| | 電話 072-675-1219 | 評価確定日 | 平成 20 年 9 月 9 日 |

【情報提供票より】 (平成20年8月11日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|-----------|-------|------|
| 開設年月日 | 平成16年4月1日 | | |
| ユニット数 | 1 ユニット | 利用定員数 | 9名 |
| 職員数 | 18名 | 常勤 | 3名 |
| | | 非常勤 | 15名 |
| | | 常勤換算 | 7.8名 |

(2) 建物概要

| | |
|-------|---------------------------|
| 建物の構造 | 鉄骨造り陸屋根 2階建ての(1階～2階部分) |
|-------|---------------------------|

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

| | | |
|------------|---------------------|-------------------|
| 家賃 (平均月額) | 5万円 | その他の経費 (月額 3.5万円) |
| 敷金 | 有 20万円 | 退所時に債務があれば清算、利息なし |
| 保証金の有無 | 有 40万円 | |
| (入居一時金を含む) | 償却1年未満5割返却、1年以上返却なし | |
| 食材料費 | 朝食 | 円 |
| | 昼食 | 円 |
| | 夕食 | 円 |
| | または1ヶ月当たり 4万5千円 | |

(4) 利用者の概要 (8月11日現在)

| | | | | | |
|-------------------|-----|------|-----|----|-----|
| 利用者人数 | 9名 | 男性 | 1名 | 女性 | 8名 |
| 要介護1 | 0名 | 要介護2 | 2名 | | |
| 要介護3 | 4名 | 要介護4 | 2名 | | |
| 要介護5 | 1名 | 要支援2 | 0名 | | |
| 年齢 平均 | 83才 | 最低 | 74才 | 最高 | 98才 |
| (5) 協力医療機関名 | | | | | |
| 近藤診療所・加藤デンタルクリニック | | | | | |

【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

利用者の方々が、明るく落ち着いた室内空間に心を開いて、自分らしく生活しているホームです。経営理念の「尊厳を保って、生きがいのある生活」を毎日送っていただけるよう、スタッフ全員が研鑽に励み、温かみのある気付きの介護支援を行っている。運営者の指示により、管理者、主任を始め職員全員が、介護支援のレベルアップにチームワークで取り組んでいる。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|-------|---|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況 (関連項目: 外部4) |
| | 職員に対する経営理念の実践への取り組み、ケアレベルの向上への研修会等はすべて実施されていた。地域の自治会との付き合いは徐々に進められ、交流も図られている。又、スタッフ間の意思疎通も改善されて、和やかな気付きの介護支援が出来ている。 |
| 重点項目② | 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4) |
| | 管理者、主任と計画作成者が、昨年の評価結果も含め協議して原案を作成し、その案を基にして職員も検討に加わり、作成された。 |
| 重点項目③ | 運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み (関連項目: 外部4、5、6) |
| | 運営推進会議は、ほぼ3ヶ月毎に開催されているが、協議の内容は当初、事業所の内容の説明から始め、最近では日常業務に関する質疑応答も行われている。ホーム自体も自治会会員として参加し、提携強化に努めているので、自治会との関係は徐々に改善に向かっている。又、地域への貢献活動として認知症の介護について、窓口相談を予定している。 |
| 重点項目④ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7、8) |
| | 毎月の経費の支払は、原則として、ご家族が持参して頂いているので、その際、ご家族と管理者及び職員が懇談し、日常生活の細かい点を含めてご本人の症状等を説明し、ご希望等をお聞きし、ご要望にお応えしている。 |
| 重点項目⑤ | 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3) |
| | 地域の方々とお付き合いとして、掃除に参加しており、特に近隣の方とは親密にさせてもらっている。又、地元の盆踊り、運動会等の案内を頂き、希望者は参加している。現在地に開設して以来、まだ4年なので、地域密着型の事業所として交流を、更に深めてもらいたい。 |

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○ 印 | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------|----|--|---|--------|--|
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 理念と共有 | | | | | |
| | 1 | ○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 経営理念として「ご利用者が主人公」「尊厳を保つ」「生きがいのある生活」「地域社会と共に」を掲げている | | |
| | 2 | ○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 事務室にも理念を掲示し、申し送り時や会議の際には、理念の実践を職員に訴えている | | |
| 2 地域との支えあい | | | | | |
| | 5 | ○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている | 運営推進会議を通して、自治会長さん、民生委員さん等と親しくなり、自治会の集会等にも出席させてもらっている | ○ | 地域の皆様との交流は機会を見つけ、次第に強化して欲しい。認知症相談窓口は、実現とPRへご努力ください |
| 3 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| | 7 | ○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 昨年の評価結果を基として、管理者、計画担当者、主任とで協議した原案を職員も加わり、検討して来た | | |
| | 8 | ○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている | 3ヶ月毎に開催し、ホームの日常生活の説明で、認知症の介護について知っていただいて来た。最近委員さんとの質疑応答を含め、交流が進んでいる | | |
| | 9 | ○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 市役所へは、書類提出等で訪問し、声を掛けるようにしているが面識がある方はまだ居ないので、今後は積極的にアプローチしてください | | |
| 4 理念を実践するための体制 | | | | | |
| | 14 | ○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている | 毎月のお支払い時に、ご家族の来訪をいただいて、利用者個々の最近の様子等の報告等を行っている | | |
| | 15 | ○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | ご家族の来訪がほぼ毎月あり、お支払いと同時に、ご本人の症状経過等を説明して話し合いの中で、何かとご意見を伺い、苦情等があれば、直ちに改善をしている | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○ 印 | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----|------|---|---|--------|-----------------------------------|
| | 9 18 | ○ 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 職員の退職はやむを得ないもの以外は、日常的に意思疎通を図り、極力、辞めないように努力している。どうしても退職する場合は、事前に人員の配置を適切に行い、利用者の動揺を防いでいる | | |

5 人材の育成と支援

| | | | | | |
|--|-------|--|--|---|---|
| | 10 19 | ○ 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 運営者が、介護の向上は職員のレベルアップにあるとして、研修を積極的に勧め、又、新入職員のオリエンテーションについては経験度によって適宜、実施している | | |
| | 11 20 | ○ 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている | 運営推進会議でしか外部との交流の機会が無いようなので、地域内の他グループホームとの交流の方法を探っている | ○ | 同業者の職員との交流は情報交換も出来、意義があると思われるので実施できるように進めて欲しい |

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

| | | | | | |
|--|-------|--|-------------------------------------|--|--|
| | 12 26 | ○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心して納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 気長に体験入所も行いながら、納得して頂いた上で、入居していただいている | | |
|--|-------|--|-------------------------------------|--|--|

2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

| | | | | | |
|--|-------|--|--|--|--|
| | 13 27 | ○ 本人と共に過ごし、支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 職員は利用者の方々と一緒に、寄添って生活し、喜びや不安を共にするようにしている。 | | |
|--|-------|--|--|--|--|

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1 一人ひとりの把握

| | | | | | |
|--|-------|---|---|--|--|
| | 14 33 | ○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 職員は一人ひとりに寄添って共に過ごす時間を必ず持つようにし、本人が何をしたいか、何をしたいか把握するようにしている | | |
|--|-------|---|---|--|--|

2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

| | | | | | |
|--|-------|--|---|---|--|
| | 15 36 | ○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 利用者一人ひとりの症状や、その変化、心のゆれ等を把握して毎日記録している。これらをケアカンファレンスの参考として新計画作成を行っている | ○ | 利用者の日々の記録を洩れなく把握しているため、三月、半年、一年毎の長い物差しでの変化の把握を、工夫してみたい |
|--|-------|--|---|---|--|

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○ 印 | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----|----|---|---|--------|-----------------------------------|
| 16 | 37 | ○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。 | 基本となるのは3ヶ月毎の計画見直しで実施しているが、時期でなくても、変化を発見した場合には、内部の検討会の結果から医師、ご家族等関係者と話し合っている | | |

3 多機能性を活かした柔軟な支援

| | | | | | |
|----|----|---|----------------------------------|--|--|
| 17 | 39 | ○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 本人、ご家族の事情によって、事業所の出来る範囲内の支援をしている | | |
|----|----|---|----------------------------------|--|--|

4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

| | | | | | |
|----|----|--|--|--|--|
| 18 | 43 | ○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している | かかりつけ医師に、職員の思いを伝え、また、ご家族の希望も日頃から聞くようにして、医師に伝えている | | |
| 19 | 47 | ○ 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 入所時に看取り、重度化のことを説明してあるので、理解していただいている。職員にも情報共有を図ってホーム内も、平常通りの介護支援を実施している | | |

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1 その人らしい暮らしの支援

(1) 一人ひとりの尊重

| | | | | | |
|----|----|---|---|--|--|
| 20 | 50 | ○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 個人情報の管理については、職員の入所時に取扱いの注意点等の教育を行っている。日頃の取扱いについても会議等で注意している | | |
| 21 | 52 | ○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 企業理念で「生きがいのある生活」を訴えているので、それに沿って、できるだけ希望に応えるように配慮している | | |

(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援

| | | | | | |
|----|----|---|---|--|--|
| 22 | 54 | ○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 出来るだけ希望に沿えるようにメニューへの配慮をしている。おやつや、朝食には、好みに合わせている | | |
|----|----|---|---|--|--|

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○ 印 | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----|----|----|--|--------|---|
| | 23 | 57 | ○ 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | | ご希望があれば、それに応じて入浴していただいている。普通の入浴時にも出来るだけゆっくりと楽しんでいただけるよう配慮している |

(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

| | | | | | |
|--|----|----|--|--|---|
| | 24 | 59 | ○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | | 楽しみごと、食事、掃除、洗濯等には、自発的に役割を持って参加して頂いている |
| | 25 | 61 | ○ 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している | | 一人ひとりの希望に沿って、外出支援をしている。外食やご家族との外出にも積極的に支援している |

(4) 安心と安全を支える支援

| | | | | | |
|--|----|----|--|--|--|
| | 26 | 66 | ○ 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | | 玄関を出ると、すぐに自動車の通行が多い道路なので、職員は常に注意している。又、ご家族の了承を得て玄関の鍵掛けをしている |
| | 27 | 71 | ○ 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | | 高槻市のご指導で、避難訓練を実施している。日頃からご近所の交流に配慮しているが、職員は今後とも地域対策の重要課題として取り組んでいる |

(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

| | | | | | |
|--|----|----|--|--|-----------------------------------|
| | 28 | 77 | ○ 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | | 食事の摂取量や水分の摂取量のチェック、体調管理が個人毎に出来ている |
|--|----|----|--|--|-----------------------------------|

2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

(1) 居心地のよい環境づくり

| | | | | | |
|--|----|----|--|--|---|
| | 29 | 81 | ○ 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | | 事業所内は和を基調とした配慮で統一され、大人の雰囲気を持った内装となっている。食事中は音楽を流すように配慮している |
| | 30 | 83 | ○ 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | | 居室内は、以前の居間の感覚で過ごせるように、家具等を持ち込んで過ごしている |